

そして、「すすきの穂を使って何か作れないかな」と働きかけたところ、すぐにはミミズクを思いつかなかったが、黒板に下がっている教師が作った飾りを見て、数人の児童が作り始めた。



また、下の写真のようなすすきの箒を作った女子がいた。教室の後片付けのときに、自分が作った箒に「おそうじくん」と名付け、うれしそうに使っていた。



下の表は、児童が製作したものをまとめたものである。どんぐりごまは、学級の半数以上の児童が作ったことになる。

児童が製作したもの

どんぐりごま	18人	松ぼっくりの動物	2人
ミミズク	11	どんぐりのペンダント	1
木の葉の絵	9	どんぐりのネックレス	1
やじろべえ	7	へびの逆上がり	1
木の葉飾りのドレス	5	木の葉のお面	1
すすきの箒	4	その他	8

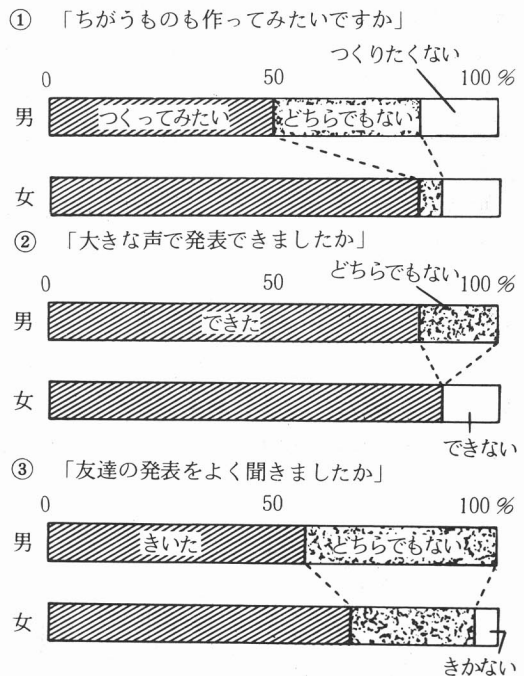
(4) 第4次 作品の発表会をしよう

作品を発表し合い、それを使って遊んだ後に、製作意欲の持続や発表の様子をとらえるために下のようなカードに記入させた。

[できたぞカード] 4

はっぴょうかい		をしたこと			
なまえ		M.O			
	じぶんのかつどう	じぶんのようす			
①	もっとやり たいこと	ちがうものも つくってみたいか	😊 はい	😞 どちらもない	😡 つくりたくない
②	くふう したこと	大きなこえで はっぴょうできたか	😊 できた	😞 どちらもない	😡 できない
③	ともだち とのこと	友だちのはっぴょうを よくきいたか	😊 きいた	😞 どちらもない	😡 きかない

カードの記入状況は、以下のとおりであった。



上のグラフの「違うものも作ってみたいですか」の結果を見ると、「作りたくない」と答えた児童は4人で、男子2名、女子2名であった。この結果を事前調査の「木の葉、草花遊びは好きですか」の結果と比較してみた。